



石江江渡下町会の ねぶた制作を支援

青森西高校「青西おもてなし隊」がゆく⑤⑥

青森県立青森西高校の「青西おもてなし隊」が今年、JR 東日本・新青森駅に近い青森市の「石江江渡下町会」の「地域ねぶた」制作支援をスタートさせました。5月下旬に作業が始まり、生徒たちは連日、作業所に向いて「紙張り」作業に従事しています。7月下旬にはねぶたが完成して地元で運行、そして8月初めの「青森ねぶた祭」に出陣予定です。

石江江渡下町会是新青森駅の南方、県道を挟んだ住宅街に広がっています。2007年から「地域ねぶた」を制作・運行し、今年で18年目になります。

毎年、80人ほどがねぶたの制作・運行に携わってきましたが、若い、新しい世代とともに地域ねぶたを盛り上げようと2023年に初めて、1kmほど西に位置する青森西高校に支援を要請。青西おもてなし隊の生徒たちが運行に参加し、大きな手応えを感じました。

今年はさらに、青西おもてなし隊が制作にも参加することになり、5月下旬の作業開始から連日、ローテーショ

ンを組んで生徒たちが足を運んでいます。

「去年はアルバイトでねぶた運行に参加していました。制作するのは初めて。思ったより大変ですが、とても充実しています」と工藤優之介さん(2年)。山本菜々さん(同)は「紙が凹まないように注意して張っています」と慎重に手を動かしていました。

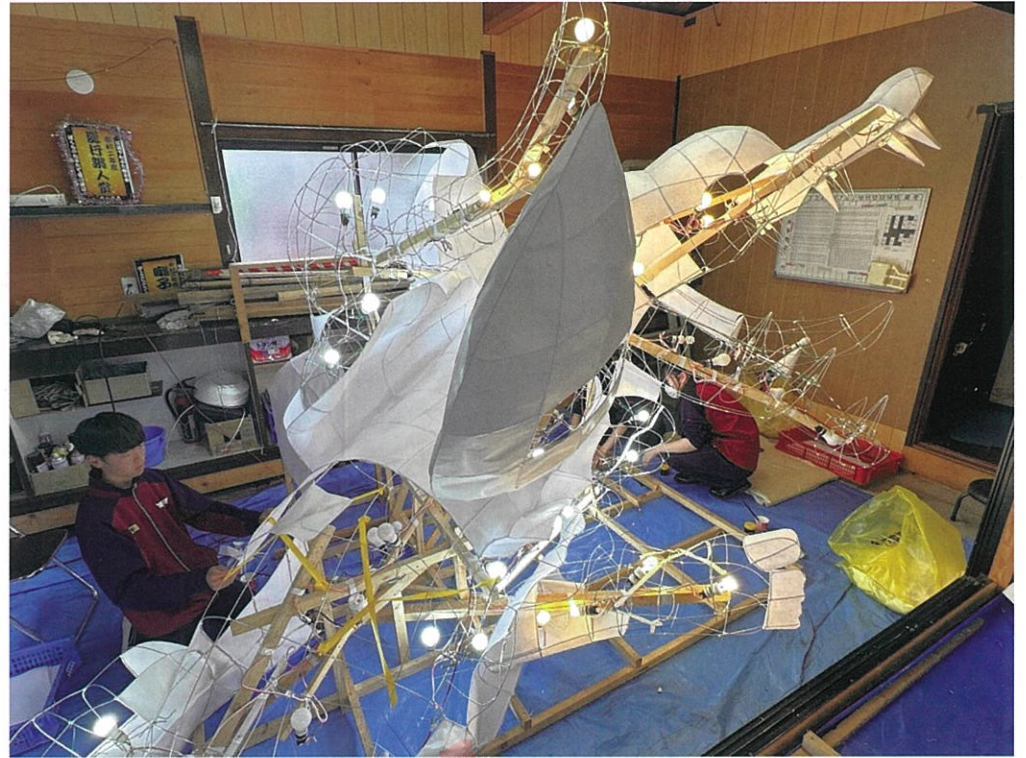
また、佐藤穂果さん(同)は「あまり得意ではありませんが、緊張しながらの作業がとっても楽しい」と顔をほころばせていました。

今年の題材は「朝比奈三郎義秀 鰐鰯を生け捕る」。

泳ぎの名人である源頼家の部下が、鰐鰯3匹を捕らえる場面を描いています。長谷川映司さんが制作を担当します。

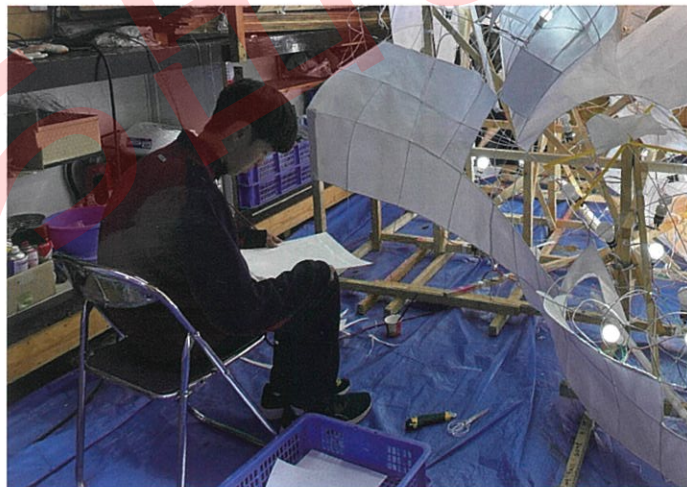
制作の統括責任者を務める福士和善さんは「幅7m、奥行き3.6m、高さ4.2mと地域ねぶたでは最大級。生徒たちの若い力を借りて、制作にも活気が出てきました」と顔をほころばせていました。

同町会の地域ねぶたは7月28日(土)に町会で、29日(日)に新青森駅周辺で運行し、8月2日(金)・3日(土)には市中心部での合同運行に出陣します。



令和6年出陣ねぶた「朝比奈三郎義秀 鰐鰯を生け捕る」
長谷川 映司 作

今年の題材「朝比奈三郎義秀 鰐鰯を生け捕る」
(石江江渡下町会提供)



新青森駅スポット

津軽弁クイズや充電コーナー

JR東日本・新青森駅には、意外に知られていないスポットがいくつかあります。乗り換え時間などに利用してみませんか？

2階の東北・北海道新幹線の改札前にある待合室には、「津軽弁クイズ」コーナーが開設されています(写真①)。リンゴの木と果実のイラストに「ねまる」「はらつえ」「あずましい」など、地元の人にはおなじみなが

ら旅人には難解な方言のクイズが。同じコーナーには、新青森駅の駅スタンプに加え、デジタル駅スタンプアプリ「エキタグ」のタグも掲示されています。

また、1階の飲食店エリアにある「あずまし広場」には、パソコンやUSB機器の充電ができるコーナーがあります(写真②)。

フリーWi-Fiの接続方法を解説したシートも掲示されています。意外に目に付かない場所にあるので、駅の情報に不案内な方々が身近にいたらぜひ伝えてあげてください。

※「Suica」はJR東日本の登録商標です。

※「エキタグ」は(株)ジェイアール東日本企画の商標です。

☆Suica導入1周年で催し

JR東日本のSuicaが2023年5月、JR奥羽本線(青森駅～弘前駅間)で利用可能になり、1周年を迎えました。JR東日本盛岡支社は、以下の相談会を企画しています。

▽モバイルSuica・JRE POINT相談会

・日時：7月6日(土) 10:00～16:00

・場所：新青森駅2階待合室前

・内容：モバイルSuicaの新規登録やJRE POINT登録方法について

▽モバイルSuica登録相談会(事前予約制)

・日時：7月11日(木) ①11:00～②13:00～③15:00～

・場所：駅たびコンシェルジュ青森(青森駅2階)

・内容：モバイルSuicaの新規登録、利用方法など

・予約方法：前日17時までに駅たびコンシェルジュ青森に来店、またはHP(<https://coubic.com/ekikon/546441/express>)、二次元

コードから



青森県立美術館

企画展「かさなりとまじわり」

空間・作品・人の「つらなり」提示

青森県立美術館で9月29日（日）まで、企画展「かさなりとまじわり」が開かれています。美術館の内外を「原っぱ」に見立てて、多くの作家による絵画や立体作品、写真、など多彩な作品の展示を通じ、アートに触れるとともに人や空間の「つらなり」を感じ取ってもらう狙いがあるといえます。

この企画展は、青森県内にある青森県立美術館、青森公立大学 国際芸術センター青森、弘前れんが倉庫美術館、八戸市美術館、十和田市現代美術館の5つの美術館・アートセンターが連携して9月1日（土）まで開催している「AOMORI GOKAN アートフェス 2024」の一



環です。「GOKAN」は「5館」、そして「五感」を意味します。本年度のアートフェスは「つらなりのはらっぱ」をテーマに据え、それぞれの美術館が個性を発揮して観覧者の周遊を促しながら、青森県全域を視野に新しい「つらなり」を見いだしてもらう趣旨があります。

建物の入り口近くでは、青森県立美術館を設計した青木淳による案内板を兼ねたリング箱のオブジェ（写真①）が出迎えてくれます。また、入り口には彫刻家・井田大介の作品「Synoptes」（シノプテス=2023年・ミクストメディア・作家蔵・©Daisuke Ida、写真②）が立ち、強烈なインパクトを伝えてきます。



【青森大学社会学部 3年・木立明莉】

「Synoptes」という作品は、こちらが相手を監視しているとき相手もこちらを監視しているといった、現代のネット社会におけるパノプティコンを表現した作品となっている。

ワークショップエリアの展示（写真③）では、県内の若手クリエイターがリレー

形式で個展を開催している。他の美術館では味わうことのできない個性豊かな個展となっているので、ぜひ一度見に来てはいかがでしょうか。



「縄文のお墓」配置や特徴を究明

三内丸山遺跡

第49次調査スタート

特別史跡・三内丸山遺跡で6月3日、今年の発掘調査が始まりました。10月31日までかけて、遺跡の西側を南北に走る「縄文のみち」（第2号道路跡）の北端一帯を調べます。

今回の調査は第49次調査に当たります。縄文時遊館



から遺跡のシンボル・大型掘立柱建物などへ向かう「縄文のみち」の両側にある、3つの調査区が対象です（地図）。この道は縄文時代の道路「第2号道路」の上をそのまま通っています。

1つ目の調査区（写真①）は、2023年に整備された、石が輪のように並ぶ「環状配石墓」（写真②）に隣接していて、以前の調査によって土抗墓が確認されています。この土抗墓の配置や年代、特徴について詳しく調べます。

2つ目はその北側の調査区で、これまで発掘が行われていないエリアです。遺跡西端の「西盛土」に続く緩やかな斜面に位置します。3つ目は、1つ目の調査区から「縄文のみち」を挟んだ東側にあり、いずれも集落の構造とその



変化について、新たな手がかりが得られると期待されます。

昨年の調査は林の中など目立たない地点が対象でしたが、今年は見学ルート沿いにあり、調査を担当する三内丸山遺跡センターの加藤渉・文化財保護主査は「来場者の関心も非常に高い」と話します。今シーズンの三内丸山遺跡は、例年以上の臨場感が楽しめそうです。

見学時間 9:00～17:00（入場は閉館の30分前まで）
（GWと6月1日～9月30日は18:00）

休館日 毎月第4月曜日（祝日の場合は翌日）、12月30日～1月1日

観覧料 一般410円（330円）／高校・大学生等200円（160円）／中学生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金
※特別展は別料金。展示内容により変更する場合があります。
※個人観覧者は、青森県立美術館のチケット提示で割引特典あり。
（詳しくは各施設のチケットカウンターまでお問合せください。）

〒038-0031 青森市三内丸山305
TEL.017-766-8282 / FAX.017-766-2365
URL <https://sannaimaruyama.pref.aomori.jp>



三内丸山遺跡センター

縄文 ⇄ 芸術
三内丸山遺跡センター カートマップ 青森県立美術館



青森県立美術館

開館時間 9:30～17:00（入場は16:30まで）

休館日 毎月第2、第4月曜日（祝日の場合はその翌日）
※企画展開催時、展示替等により変更する場合があります。

観覧料 一般900円（700円）／高校・大学生500円（400円）／小学生・中学生100円（80円）

※（ ）内は20名以上の団体料金およびAOMORI GOKAN アートフェス 2024 公式ガイドブック特典「スタンプラリー＆バスポート」提示割引料金
※心身に障がいのある方と付添者1名は無料
※企画展は別料金。
※個人観覧者は、三内丸山遺跡センターのチケット提示で特典あり。
（詳しくは各施設のチケットカウンターまでお問合せください。）

〒038-0021 青森市安田字近野185
TEL.017-783-3000 / FAX.017-783-5244
URL <https://www.aomori-museum.jp>



新青森駅 ⇒ 三内丸山遺跡センター：循環バス「ねぶたん号」（東口）18分・300円、タクシー（南口）約10分・1,000円前後、徒歩約30分
⇒ 青森県立美術館：「ねぶたん号」（東口）約11分・300円、タクシー（南口）約10分・1,300円前後、徒歩約40分

Facebook ページ
Instagram アカウント

<ネット情報>

Facebook ページとInstagram アカウントを開設し、独自の記事・情報を掲載しています。ご意見をお寄せ

下さい。また、PDF 版を青森大学社会連携センターの Facebook ページに掲載しています。いずれも、右側の QR コードからご覧いただけます。

☆このニュースレターは、青森大学社会学部・榎引研究室が企画・制作し、文責を負っています。お問い合わせ、ご意見等は下記連絡先へお願いします。

〒030-0943 青森市幸畑 2-3-1 青森大学社会学部
榎引素夫 電話 017-738-2001 内線 731
shin-aomori@aomori-u.ac.jp

